



## ご入学・ご進級 おめでとうございます

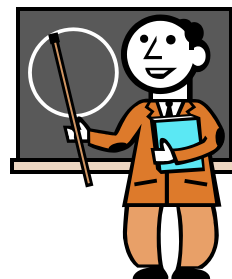
校長 青山龍三

年度末から年度始めにかけては、別れと出会いの時期です。毎年必ずやって来ますが、そのたびに新鮮な気持ちになります。新しい学校に赴任した教師は、なんとなく楽しい気持ちとどことなく不安な気持ちが複雑に絡み合います。それは、たぶん子ども達にとっても同じだろうと思います。どんな先生が来るだろう、どんな学級になるだろう、担任の先生は誰になるだろうなどなど。保護者の方も同じような気持ちではないかと推測します。

いろいろな気持ちの中、下記のもが新しく東野小学校に赴任しました。前任者同様、よろしくお願ひします。

【転入者】	校 長	青山 龍三	( 恵那市立恵那北中学校より )
	教 諭	小出 和佳	( 恵那市立長島小学校より )
	教 諭	勝股 由佳	( 岐阜市立城西小学校より )
	事 務	田島 利紗	( 新規 )
	校 務	伊東 祐二	( エコセンター恵那より )

【転出者】	校 長	今村光登志	( 岐阜市立城西小学校へ )
	教 諭	鈴木 穂美	( 退職 )
	教 諭	丹羽 岳人	( 多治見市立滝呂小学校へ )
	事 務	良雪 菊枝	( 退職 )
	校 務	原田 久子	( 退職 )



私たちが暮らす社会にも、教育の世界にも、世の中がいくら変わっても決して変わらない価値を持つ【不易】と、時代の変化とともにその価値が変化する【流行】があります。人間尊重の精神や、学習で言えば基礎・基本にあたるものが【不易】にあたります。学校が目指す目標のほとんどが【不易】といえます。本校の4つの育てたい子どもの姿

**よく考える子**

**仲よく助け合う子**

**やりぬく子**

**じょうぶな子**

は、まさに時代がどれだけ変わろうと、変わることはない、ゆるぎない子どもの姿ではないでしょうか。

『子どもは育てたいようには育たない。子どもは育てたように育つものだ。』

とよく言われます。こんなはずではないといっても、今ある姿は明らかに育てた結果です。

保護者の皆さんも、私たち学校の職員も今ある子どもの姿をよく見て、『育てたいように』育っているかどうか確かめることが大切です。

学校がかかえる多くの課題は、とても学校だけでは解決できないほど深く広がってきています。限られた人数の職員では、がんばりにも限界があります。家庭・地域の皆さんとの連携なくしては、育てたいように育てることができません。学校が大切にしていること、めざすことに対し、ぜひご理解をいただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

